

ベトナムの再生可能エネルギーの成長と課題

2025年2月25日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナムの再生可能エネルギーの成長と課題

ベトナムは豊富な自然資源とベトナム政府の支援を背景に、再生可能エネルギー分野の成長が期待されている。特に、年間 2,000～2,500 時間の日照や安定した沿岸風速を活用し、太陽光発電や風力発電の拡大が進んでいる。ベトナム国内のエネルギー需要は毎年約 10%増加しており、再生可能エネルギーはベトナムのエネルギー安全保障の確保と環境規制対応の両面で重要な役割を果たしている。

ベトナム政府は税制優遇や低利融資などの支援策を打ち出しているが、ベトナム企業は依然として法的・行政的な課題に直面している。最大の障壁は、煩雑な許認可手続きや土地取得の困難さであり、環境影響評価や建設許可取得に時間を要することが多い。特に、土地利用の転換や補償交渉の複雑さが、ベトナム国内の再生可能エネルギープロジェクトの遅延を招いている。

さらに、技術依存の課題もある。多くのベトナム国内の再生可能エネルギープロジェクトは海外技術に依存しており、知的財産権の問題や技術品質の確保が重要視されている。また、電力買取制度（FIT）の終了により、電力価格の変動が投資リスクを高め、新規プロジェクトの採算性が不透明になっている。

これらの課題を解決するためには、ベトナム政府の法制度改革が不可欠である。特に、透明性のある電力価格設定、許認可手続きの簡素化、土地管理の効率化が求められている。また、ベトナム企業の環境基準遵守を促し、持続可能なエネルギー開発を支援する制度設計も重要である。

再生可能エネルギーはベトナムの持続可能な発展に不可欠であり、適切な政策と規制改革が進めば、投資促進と経済成長の両立が可能となる。ベトナム政府、ベトナム企業、国際機関の協力が、この分野の成功を左右する鍵となる。

以上